

3 自分タイム

1 「自分タイム」のねらい

生涯学習社会へ移行する現在，自ら進んで学習することの大切さが強調されている。学校教育でも，生涯学び続ける力（自己教育力）を育むという視点で，教育課程を見直し，新たな学習を構築する必要がある。本校では，このような考えに基づき，総合的な学習の一つの領域として，「自分タイム」を創設した。

「自分タイム」とは，子ども一人一人が自らの興味・関心をもとに学習課題を設定し，ゆとりと見通しをもってその課題を追究する活動を楽しむ時間である。活動の中で，子どもたちは，失敗や成功を繰り返しながら，活動そのものへの意味づけを自ら行い，学習することの楽しさや成就感を味わうであろう。このような主体的な追究活動を積み重ねることにより，子どもたちは，学習の仕方を習得し，自分と対象とのかかわり方を見つめ，自分の生活をより豊かにすることができると考えている。

【全体】 自ら設定した課題の追究を楽しみながら，学習の仕方を習得し，自分の生活をより豊かにしようとする子どもを育てる。		
低 学 年	中 学 年	高 学 年
身の回りの問題を見つけ，意欲的に活動しようとする。	自ら課題を設定し，その追究を楽しみながら，学習の仕方を身につけることができる。	見通しをもって自分の課題を追究することを通して，自分の生活をより豊かにしようとする。

2 予想される活動内容

自分タイムの活動で予想される内容としては，次のようなものがある。

- ① 日常生活の中で，興味関心を抱いたもの。
- ② 各教科の学習内容を広げ，深めていくもの。
- ③ 他の領域の学習内容を広げ，深めていくもの。
- ④ 宿泊学習に関連したもの。

3 学習過程における基本的な考え方

(1) 学習課題の設定について

学習課題は、従来の教科・領域の枠にとらわれず、日常生活や学習の中で抱いた疑問や興味・関心をもとにして、子どもたち一人一人が自ら決定するものとして考えている。しかし、子どもたちにとっては、初期の段階から明確な学習課題や計画を立てることは難しいことである。そこで、学年段階に応じて、前年度までの活動事例を紹介したり、作品を鑑賞したりするオリエンテーションの場を設定している。また、相互の学習課題や計画について、学び合う場を設定するようにしている。

(2) 追究活動について

追究活動においては、自分の思いや願いの実現に向けて、子どもたち一人一人が没頭して活動することを大切にしたい。そのため、体験的な活動や調査活動、製作活動など、個に応じて多様な活動が展開されることになる。それに伴って、活動場所も、教室、図書室、運動場、校外の公民館など、諸処に分散されることになる。教職員や保護者、地域の人々、専門機関などとの連携を密接にとりながら、学習活動を支援するためのネットワーク体制を充実させていきたいと考えている。

また、基本的に追究活動は個人によるものであるが、課題や追究方法が類似している場合や集団での活動を要する場合には、共同で追究活動にあたり、情報を交換したり相談したりしながら学習を進めていくこともある。

(3) 表現活動とふりかえりについて

表現のための表現ではなく、表現することを通して、自分の思いが整理され、考えが明確になり、新たな課題の発見につながることを期待して、表現活動を行っていく。最終的には、活動の成果を発表したり作品を展示したりする場の設定を子どもたち自身が望むようになることを期待している。これは、同時に、次年度の活動へのオリエンテーションの場ともなる。また、お互いの課題や追究の質を高め、学習対象をさらに広げることにもつながるものである。

表現活動は、大きな意味でのふりかえりの場と考えることができる。このような大きな意味でのふりかえりの前提として、各学習過程において随時ふりかえることも重視していきたい。ふりかえりを積み重ねていくことで、自分と対象とのかかわり方を見つめながら、自分の考えや判断、行動の質を高めていくことができると考えている。

自分タイムの学習過程

(低 学 年)		中 学 年		高 学 年	
ねらい	○身の回りの問題を見つめ、意欲的に活動しようとする。	○自ら課題を設定し、その追究を楽しみながら、学習の仕方を身につけることができる。	○見通しをもって自分の課題を追究することを通して、自分の生活をより豊かにしようとする。	児童の活動	教師の働きかけ
課題づくり・見直し	<p>児童の活動</p> <p>オリエンテーション</p> <p>○生活科・裁量の時間から課題を見つめる。</p> <p>○自分なりの解決方法を考える。</p>	<p>教師の働きかけ</p> <p>○課題を見つめるための材料を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の事例 ・教科の学習の中から ・しののめまつり など <p>○課題解決に向かう方法を自分なりにもてるように言葉かけをする。</p>	<p>児童の活動</p> <p>オリエンテーション</p> <p>○自分で課題を見つめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において興味、関心をもつたもの ・学習の中で発展させたいもの <p>○学習計画を立てる。(時間配分やまとめ方も含める)</p>	<p>教師の働きかけ</p> <p>○一年間の学校生活や時期を見通して、計画案が立てられるように支援する。</p> <p>○これまでの活動をふりかえり、課題づくりに生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の活動記録や作品 <p>○自分で立てた計画案を個別に支援していく。</p>	
追 究 活 動	<p>活動しながら、自分なりの解決方法を考える。</p> <p>体験する 観察する 遊ぶ 育てる つくる など</p> <p>↓</p>	<p>一人ひとりの実態把握に とめ、活動の仕方やまとめ方について適宜支援していく。</p> <p>各教科、領域で連絡を取りながら、より幅広い子どもの活動の場づくりを行うように努める。</p> <p>学習過程において随時ふりかえりの場を設定する。</p>	<p>自分の学習計画に そって活動する。</p> <p>活動のふりかえりから計画を修正する。</p> <p>体験する 観察する 調べる 極める つくる など</p> <p>↓</p>	<p>一人ひとりの実態把握に とめ、活動の仕方やまとめ方について適宜支援していく。</p> <p>各教科、領域で連絡を取りながら、より幅広い子どもの活動の場づくりを行うように努める。</p> <p>学習過程において随時ふりかえりの場を設定する。</p>	
表 現 ・ ふ り か え り	<p>活動したことを思い出しながらまとめ</p> <p>○気づきや感想を発表し合う。</p> <p>○がんばりや工夫など、その子なりのよさを評価する。</p>	<p>子どもの活動に合わせた表現方法を考える場をつくる。</p> <p>○気づきや感想を発表し合う。</p> <p>○課題のつくり方や解決の方法を含めて、活動をふりかえるように支援する。</p>	<p>活動したことを思い出しながら、まとめ方を工夫する。</p> <p>○気づきや感想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や方法 ・自分自身 	<p>発表や展示の場を保障する。</p> <p>○自己評価の場を大切にす る。成就感や達成感を味わ い、次への活動が高まるよ うにする。</p>	